

名洗港港湾計画の改訂について 地方港湾審議会資料



令和4年 3月28日
千葉県 県土整備部 港湾課

R3.1撮影

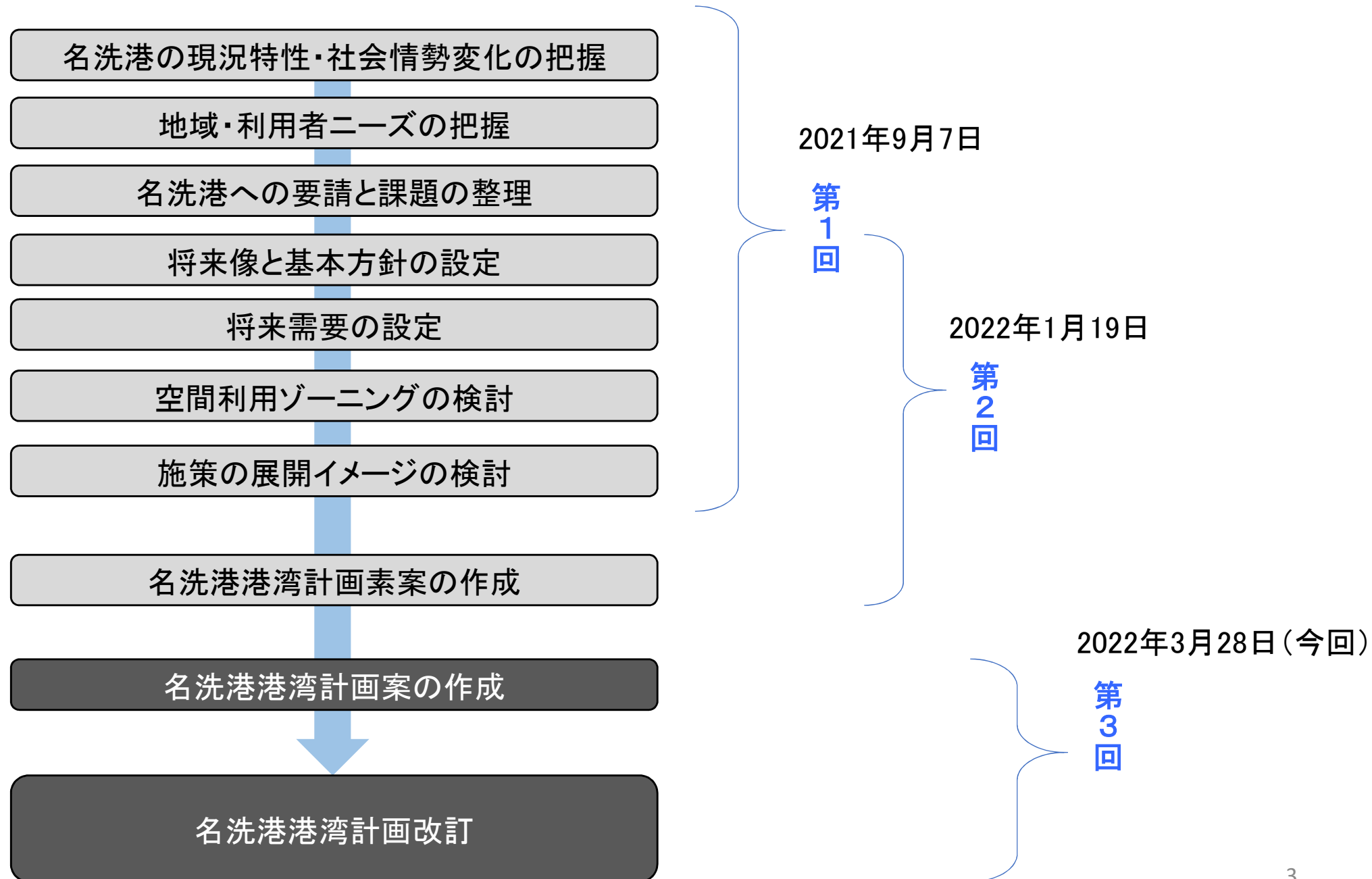
1. 前回審議会における主要意見	2
2. スケジュール	3
3. 名洗港の概要	4
4. 名洗港を取り巻く社会情勢の変化	7
5. 港湾計画の方針	12
6. 港湾の能力	15
7. 改訂計画(案)の内容	20
8. 目標年次の名洗港のイメージ	35
9. 環境影響評価	36

1. 前回審議会における主要意見（令和4年1月19日）

N o.	主要意見	対応方針（案）	関連資料
1	洋上風力発電量の39万kWの規模がどのくらいか、誰にでも理解できるような説明を示した方が良い。	発電容量に関する補足説明を追加しました。	P9
2	屏風ヶ浦周辺の緑地と犬岩緑地は、一体的な景観緑地として計画したほうが良い。	港湾計画の方針の一つに、一体的に良好な港湾景観を創出する旨を追加しました。	計画書P4
3	周辺のインフラ整備、交通アクセス、港湾背後周辺の安全対策について、関係者と調整しながら検討が必要である。	地元市とも連携して安全対策を進めていきます。	—
4	埠頭用地内のバラ貨物、コンテナ貨物の配置に配慮が必要である。また、緑地が物流車両の動線の妨げにならないよう配慮が必要である。	バラ貨物とコンテナ貨物が同時保管できる配置に設定しました。埠頭用地と犬岩緑地にそれぞれ施設内道路を配置することで、動線が輻輳しない配置を設定しました。	P21
5	送電線の立ち上がり位置を考慮する必要がある。	占用協議において港湾計画や既設構造物に支障がないことを確認してまいります。	—
6	基地港湾である鹿島港との役割分担を示す必要がある。	役割分担に関する資料を追加しました。	P11
7	海域の新たな構造物の設置により、離岸流の発生等の環境変化が懸念される。また、マリンスポーツの促進によりレジャー客も増加するため、安全対策を示したほうが良い。	水域利用者や関係機関と調整を図りながら、施工時や完成後の安全対策に取り組んでまいります。	—

2. スケジュール

【地方港湾審議会における検討内容】



3. 名洗港の概要

3. 1. 名洗港の概要

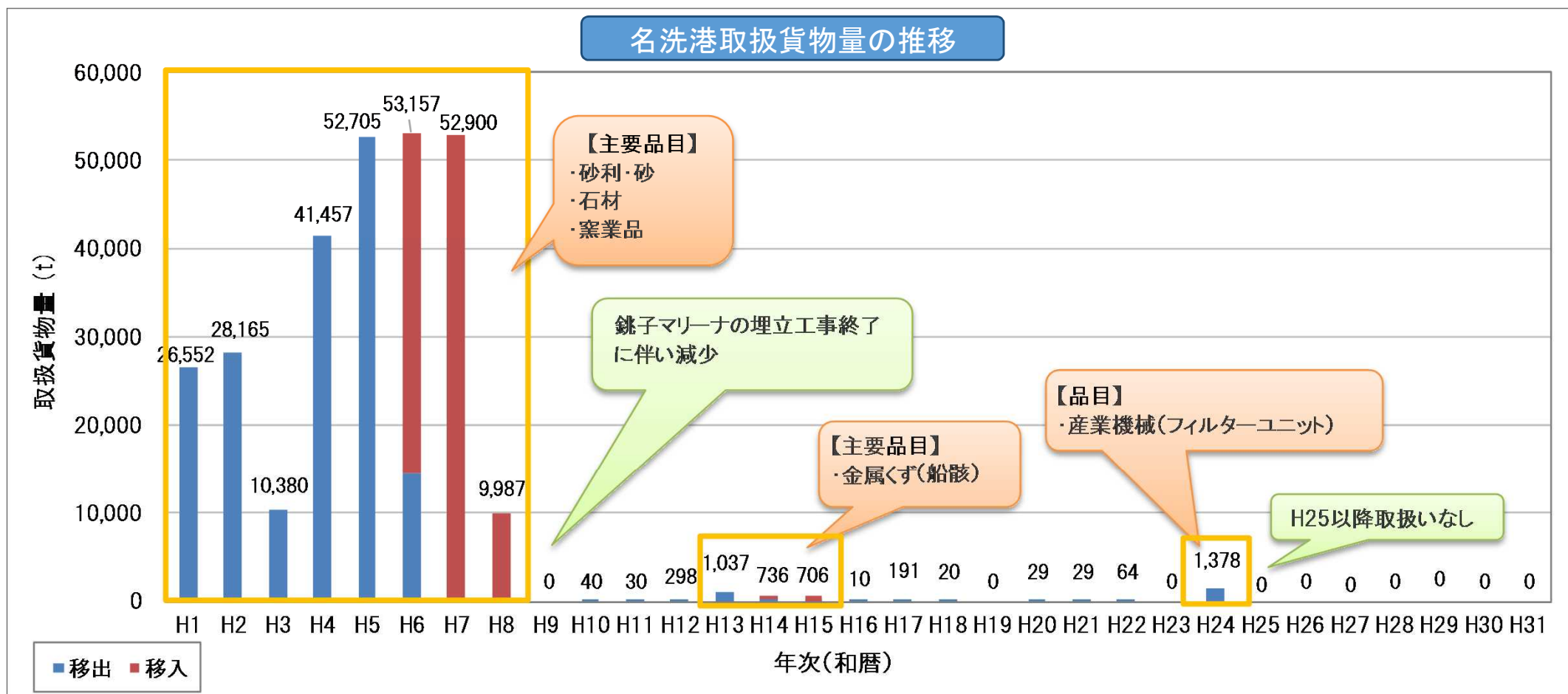
- 名洗港の背後地には、名洗臨海工業団地が立地し、水産品加工を中心とした食品加工産業が集積している。
- 屏風ヶ浦や犬岩は「銚子ジオパーク」の名所であり、豊かな自然を活かした観光資源に恵まれている。また、プレジャーボートの拠点である銚子マリーナを始め、名洗港海浜公園や銚子マリーナ海水浴場などの海洋性レクリエーション施設が立地する。
- 名勝および天然記念物として国に指定された「屏風ヶ浦」など、歴史ある自然景観の残る港湾である。
- 小型船舶の避難泊地を確保するための防波堤が整備されている。



3. 名洗港の概要

3. 2. 取扱貨物量の推移

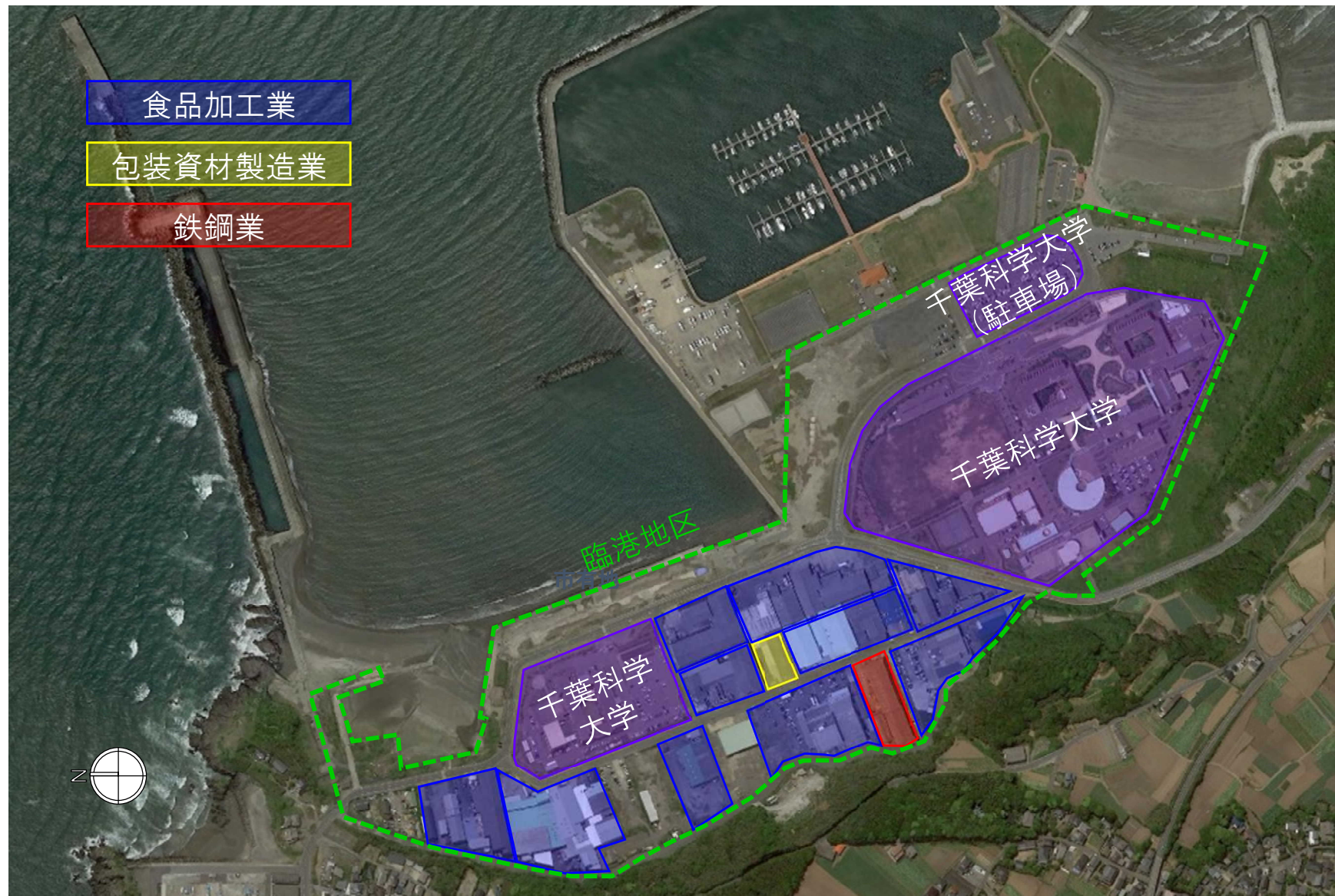
- 名洗港の取扱貨物量は、平成6年～平成8年ではマリーナ工事のために砂利・砂、石材(移入)が扱われていた。
- 平成9年以降は金属くずなどの取扱いが僅かにあったが、平成25年度以降の貨物の取扱いはない。



3. 名洗港の概要

3. 3. 企業の立地状況

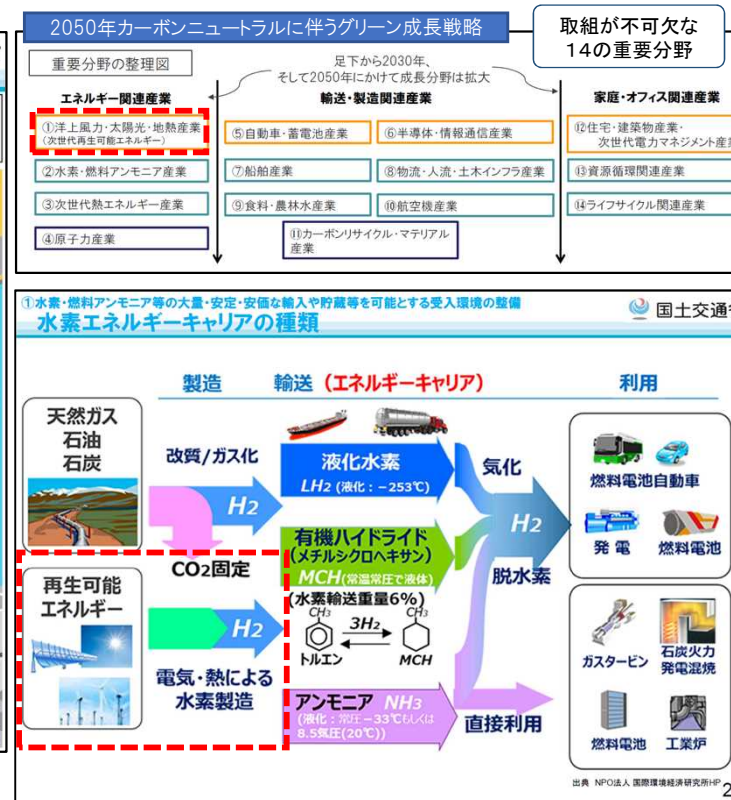
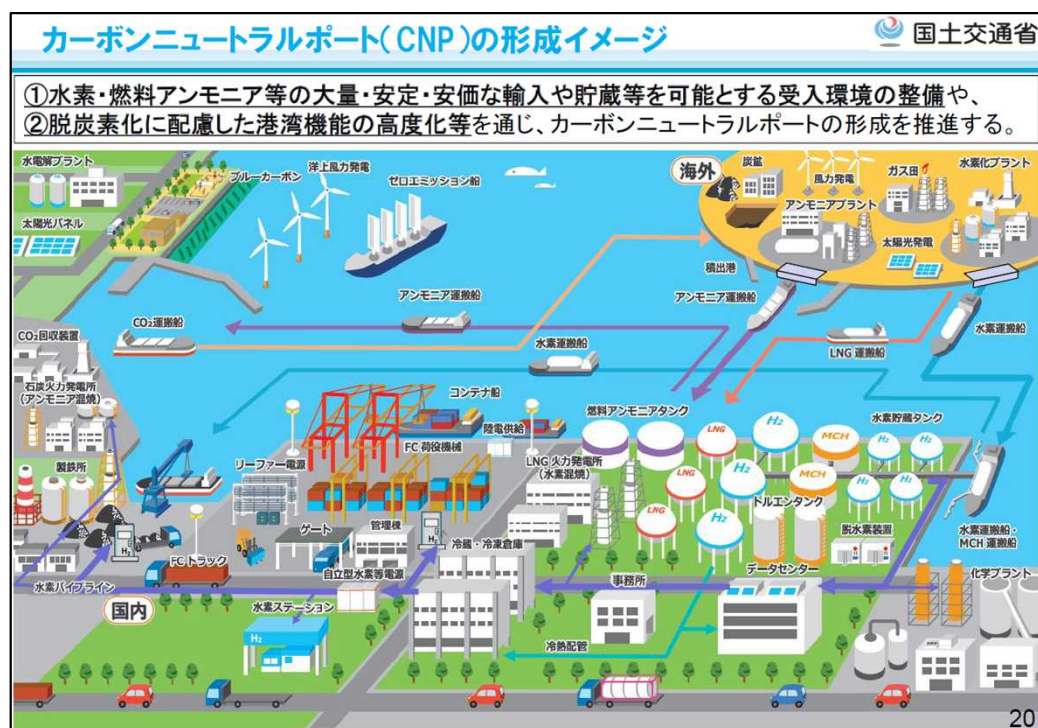
- 35haが名洗港臨港地区に指定されている。
- 臨港地区に位置する名洗臨海工業団地には、水産品加工を中心とした食品加工産業が集積している。



4. 名洗港を取り巻く社会情勢の変化

4. 1. 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略

- 我が国では2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みが進められており、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」において、取組が不可欠な14の重要分野のひとつに「洋上風力発電」が位置づけられている。
- カーボンニュートラルポート(CNP)形成に向けた取組方針のひとつとして、「洋上風力発電の基地港湾」が掲げられており、基地港湾のあり方を検討した上で、計画的に整備を進めていくことが示されている。
- CNP形成に向けた取組方針では、「洋上風力余剰電力の活用(水素化、海上輸送)」についても示されており、余剰電力による水素の製造と港湾における利用の促進に取り組むものとしている。



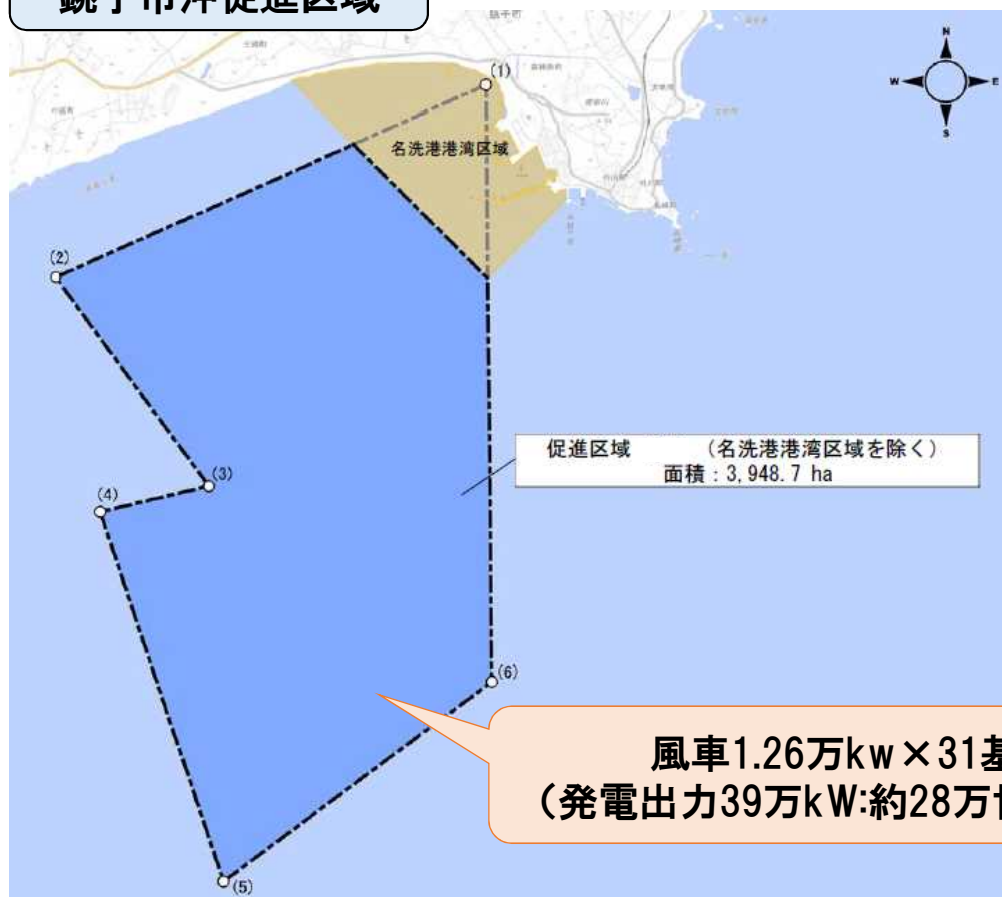
4. 名洗港を取り巻く社会情勢の変化

4. 2. 洋上風力発電の推進に伴う新たなニーズ

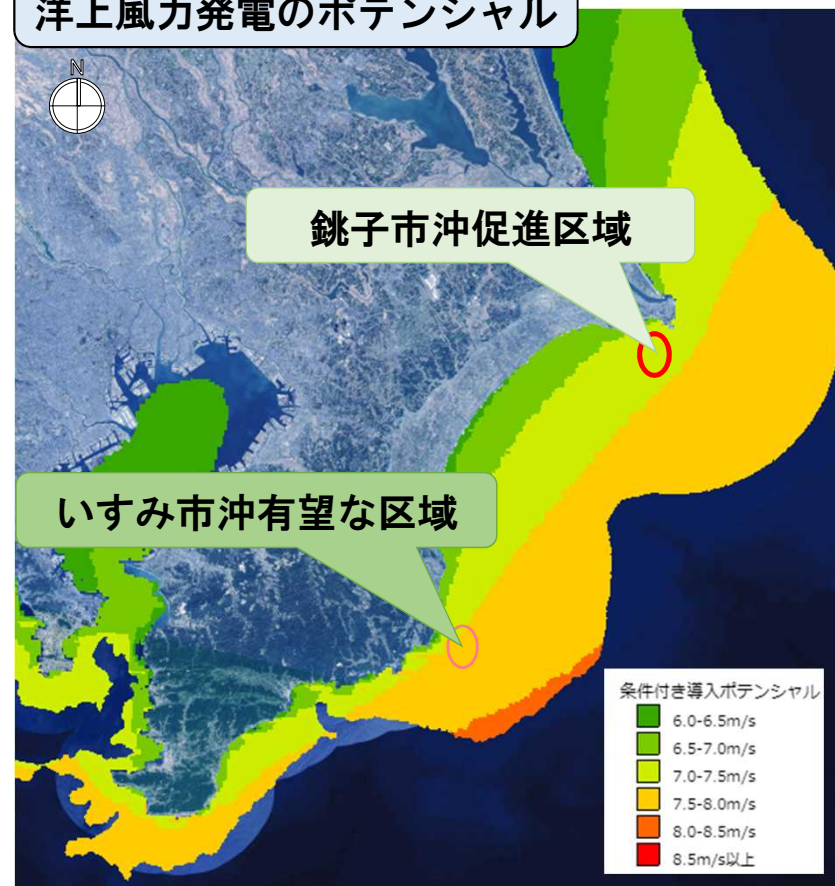
洋上風力発電の促進区域指定と将来展望

- 令和2年7月に千葉県銚子市沖の海域(約40平方キロメートル)が再エネ海域利用法に基づく促進区域に指定され、令和3年12月に選定された発電事業者より、名洗港を建設補助や維持管理の拠点として利用する意向が示されている。
- 本県の太平洋沿岸の沖合は、風況に優れており、洋上風力発電の導入可能性が高い地域である。銚子市沖促進区域指定に続き、いすみ市沖が有望な区域に指定されており、太平洋沿岸の他の海域においても促進区域指定が期待される。

銚子市沖促進区域



洋上風力発電のポテンシャル



※資料：海洋状況表示システム (<https://www.msil.go.jp/>) を加工して作成

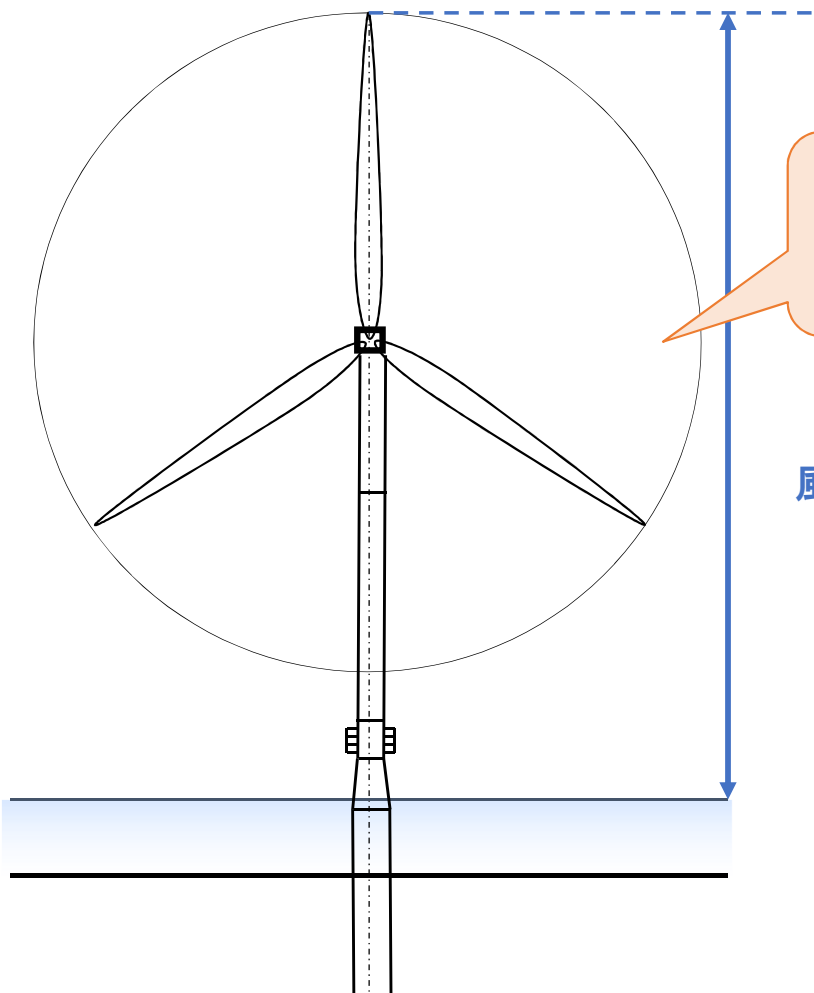
4. 名洗港を取り巻く社会情勢の変化

4. 2. 洋上風力発電の推進に伴う新たなニーズ

【参考】洋上風力発電の施設規模・発電規模

- 洋上風力発電設備の水面からの高さは約250mあり、千葉ポートタワーの建物高さの倍近くもある。
- 発電設備出力39.1万kWは、約28万世帯の電力需要を賄うことができる。（銚子市は約2.7万世帯）

洋上風力発電設備の施設規模

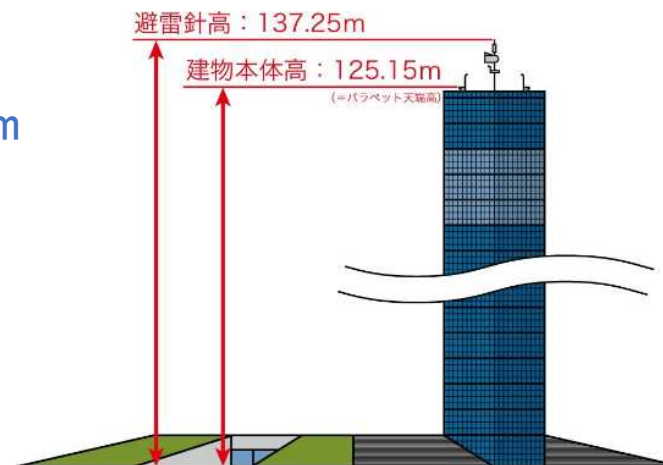


風車設置イメージ



発電出力39.1万kW→約28万世帯の電力需要
(千葉市の世帯：約45万戸／銚子市の世帯：約2.7万戸)
※稼働率は30%と想定
※1世帯の使用量は約300kWhと想定

風車高さ：約250 m
(水面より)



資料：千葉ポートタワーオフィシャルホームページ
<https://chiba-porttower.com/about/>

4. 名洗港を取り巻く社会情勢の変化

4. 2. 洋上風力発電の推進に伴う新たなニーズ

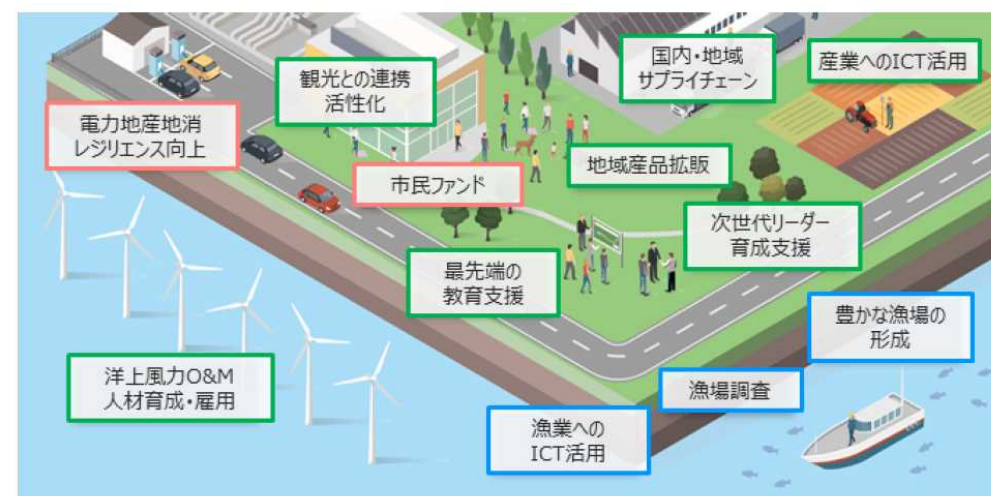
【参考】地域の活性化につながる共生策

- 洋上風力発電の促進に伴い、開発・建設・運営の各フェーズにおいて地域への波及効果が期待される。
- 事業者による共生策の実施に伴い、漁業振興、地域産業振興、雇用創出、レジリエンス向上などの効果が期待される。

国内・地域サプライチェーンの構築



地域の活性化につながる共生策の実施



持続可能な漁業支援体制の構築

- 漁場調査・魚礁・藻場造成等の漁業支援
- ICTを活用した海象条件の可視化等、DX支援による生産性向上

地域産業の振興と雇用の創出

- 【産業】洋上風力の国内・地域サプライチェーン構築（開発から運営まで）
- 【流通】地域特産品販路拡大（既存流通からeコマースまで）
- 【教育】最先端の教育支援／次世代リーダーの育成支援／教育機関との産学連携
- 【観光】洋上風力と連携した観光施策

住民生活の支援

- 【電力利活用】電力地産地消、再エネ・電動車両活用等によるレジリエンス向上
- 【生活】まちづくり、市民ファンド

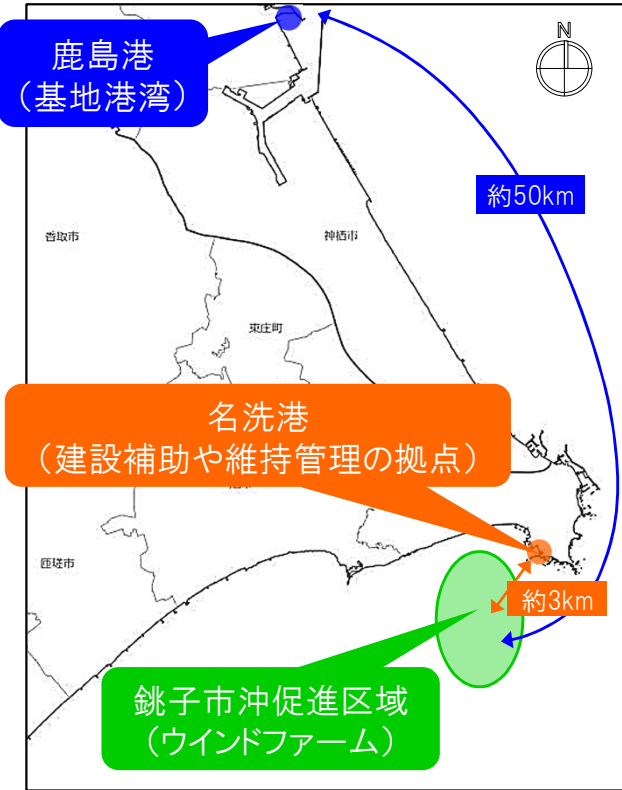
出典：発電事業者プレスリリースより（2022年2月24日）

4. 名洗港を取り巻く社会情勢の変化

4. 2. 洋上風力発電の推進に伴う新たなニーズ

【参考】 基地港と建設補助や維持管理の拠点の役割分担

- 銚子市沖洋上風力発電事業では、基地港湾は鹿島港、建設補助や維持管理の拠点は名洗港が担う。
- 基地港湾では大型の部材を建設時に使用し、運転開始後にも大型資機材の保管や大規模メンテナンスで使用する。
- 名洗港では、近接する立地条件を活かし、建設補助や維持管理の拠点として作業員の日常作業や小型部材の保管場所として活用する。



	基地港湾(鹿島港)	建設補助や維持管理の拠点(名洗港)
用途	大型資機材の保管・組立 風車部品の検査	作業員の陸上準備・陸上補修・検査作業 工具類・油脂類・補修部品(小型)の保管
取扱品目	ナセル・ブレード・タワー等	工具、油脂類、日常補修部品(ボルト等)、 風車・ケーブル補修部品(制御盤、ジョイント等)
利用船舶	自己昇降式作業船(SEP船) ケーブル敷設船等	人員輸送船(CTV) 小型作業船(クレーン付き台船、引船等)



港湾	役割	2027	2028	2029	...	2051	2052
鹿島港	基地港湾	建設工事			■ ■ ■		撤去工事
名洗港	建設補助						
	維持管理	運転開始					運転終了

大規模メンテナンスで使用